

2016年5月12日

Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

長期経営計画 「Progress2030」
中期経営計画 「Vista2021」

NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

1. 「Vista2015 Stage II」 総括
2. 「Progress2030」 概要
3. 「Vista2021」 概要
4. 「Vista2021 Stage I」 (2016～2018年度) 概要

Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

1. 「Vista2015 Stage II」 総括

Stage II 基本戦略

Stage I (2010~2012)

- ◆ 世界経済の減速
- ◆ 東日本大震災
- ◆ 新製品開発の遅れ

課題

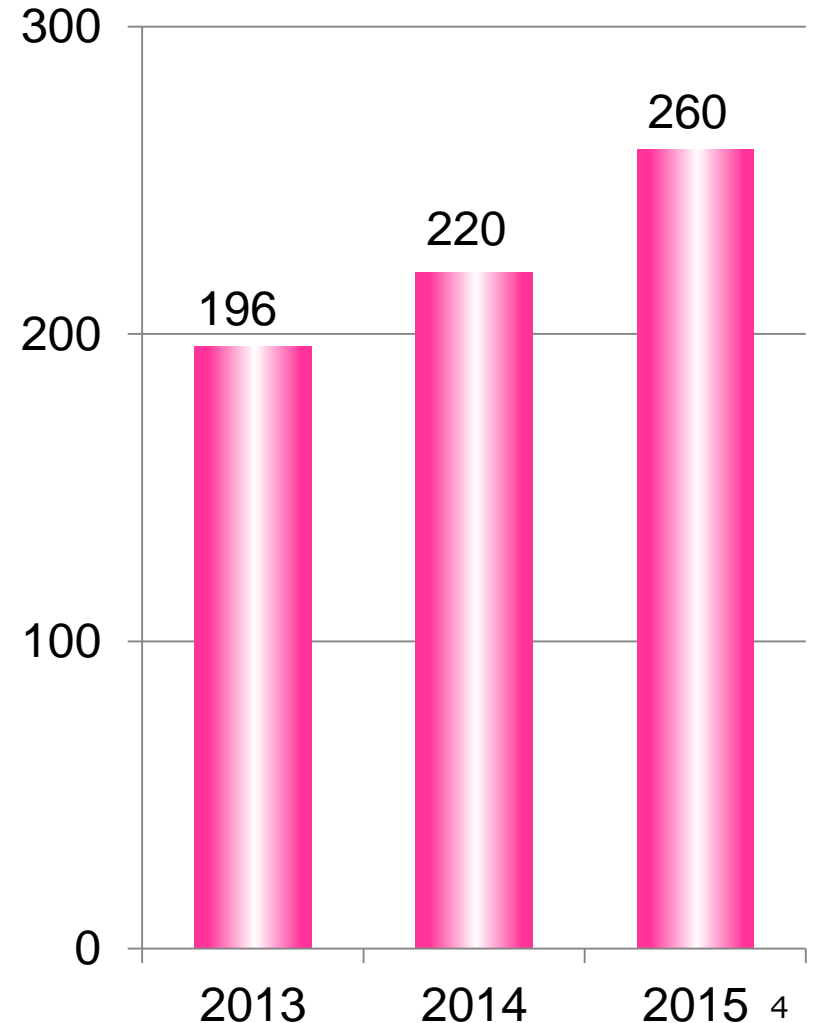
- ◆ 市場・顧客ニーズの把握と適切な対応
- ◆ 新製品の早期実需化
- ◆ 新たな視点からのコストダウン
- ◆ 海外成長市場での拡販



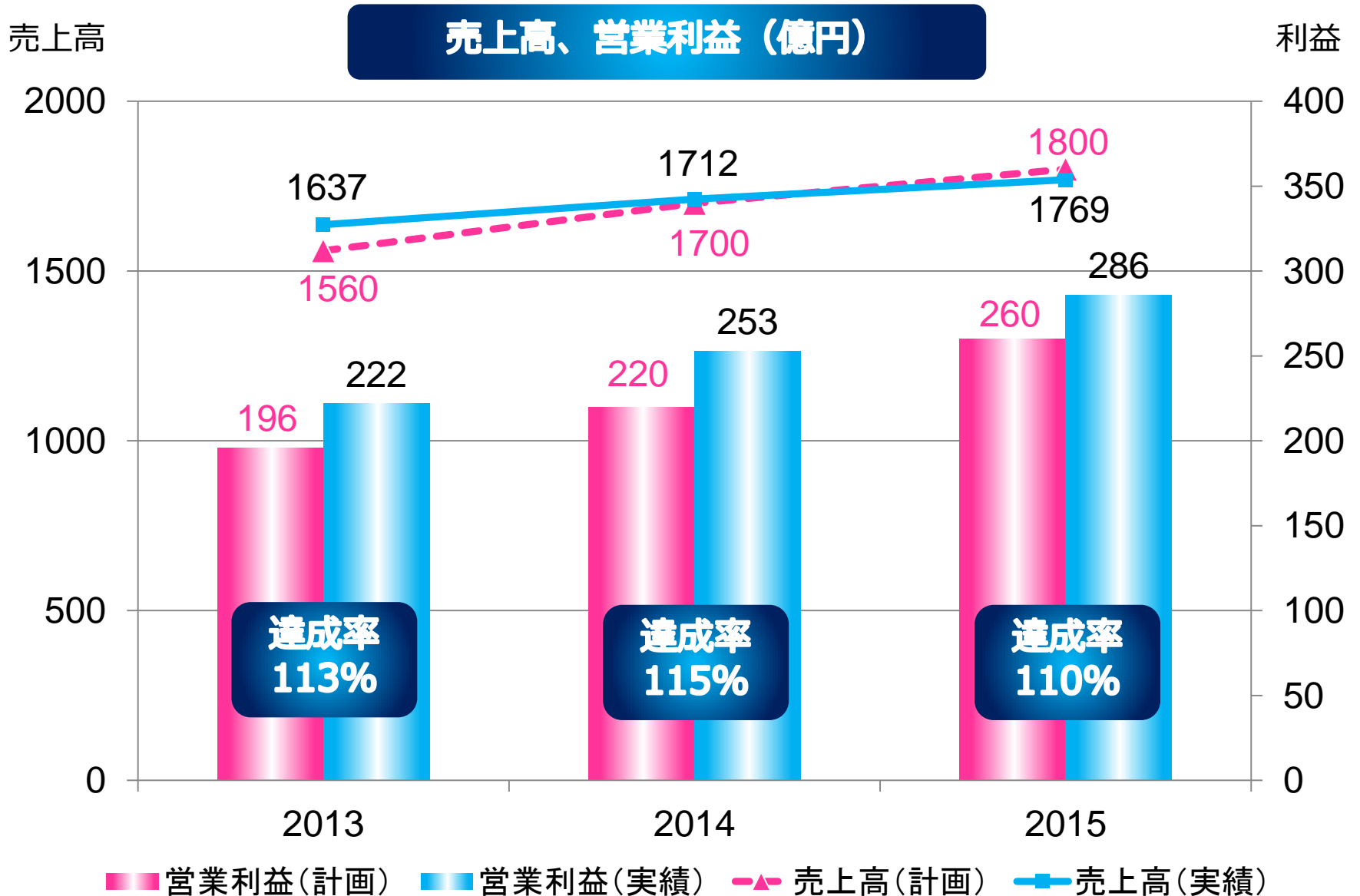
Stage II 基本戦略

- ◆ 新事業・新製品の創出
- ◆ 事業の構造改革推進

Stage II (2013~2015) 営業利益計画 (億円)



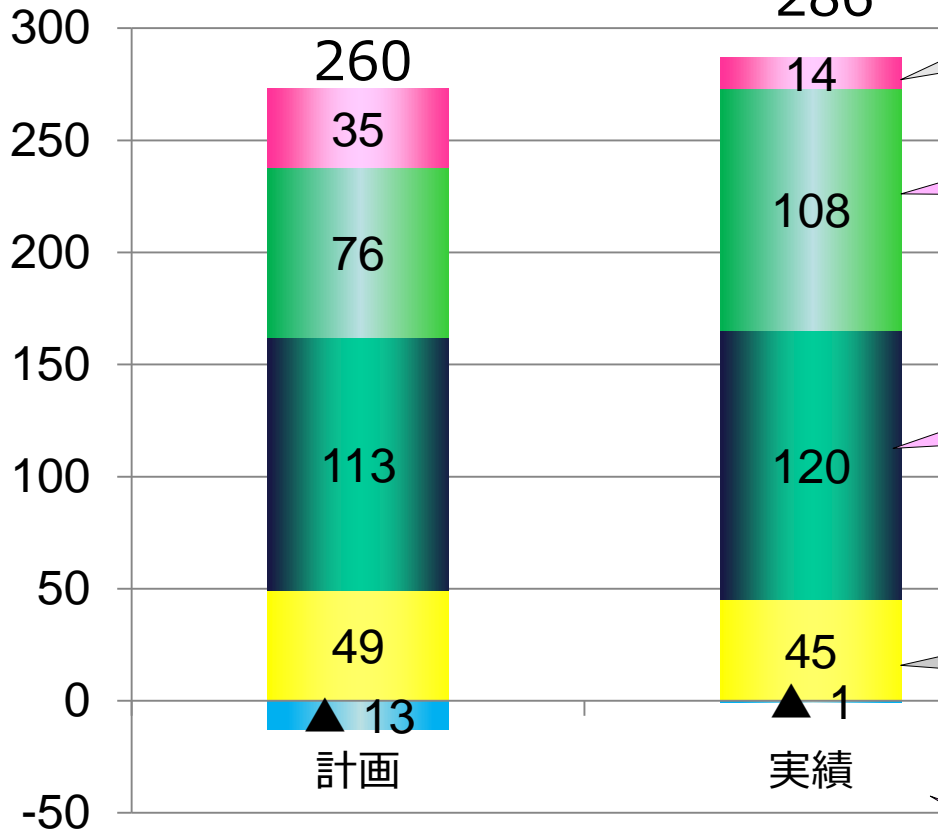
損益 (中計比)



損益（中計比）

2015年度セグメント別営業利益（億円）

旧セグメントベース



医薬品 ▲21

「リバロ」 後発品の増勢により減少

農業化学品 +32

フルララネル、「アルテア」、「ラウンドアップ」ALが好調

機能性材料 +7

スマートフォン向けを中心にディスプレイ材料が伸長

化学品 ▲4

高純度硫酸、電材向け「テピック」が減少

その他 +12

■ 化学品 ■ 機能性材料 ■ 農業化学品
■ 医薬品 ■ その他

その他：卸売、その他、調整

2015年度実績

| | 計画 | 実績 |
|------------|-------|-------|
| 売上高営業利益率 | 14.4% | 16.2% |
| ROE | 13.4% | 14.6% |
| 売上高研究開発費比率 | 9.6% | 8.9% |
| 配当性向 | 30%以上 | 30.7% |

(事業)

- ◆ ハイパーブランチポリマー、ナノファイバージェルの開発進展
- ◆ 3次元培養培地、プレパレーションキット販売、ES/iPS細胞の大量培養法の確立

(研究)

- ◆ 材料科学研究所の発足、先端材料研究部および次世代材料研究部の新設
- ◆ 生物科学研究所の抜本的リニューアル（2017年3月完工予定）

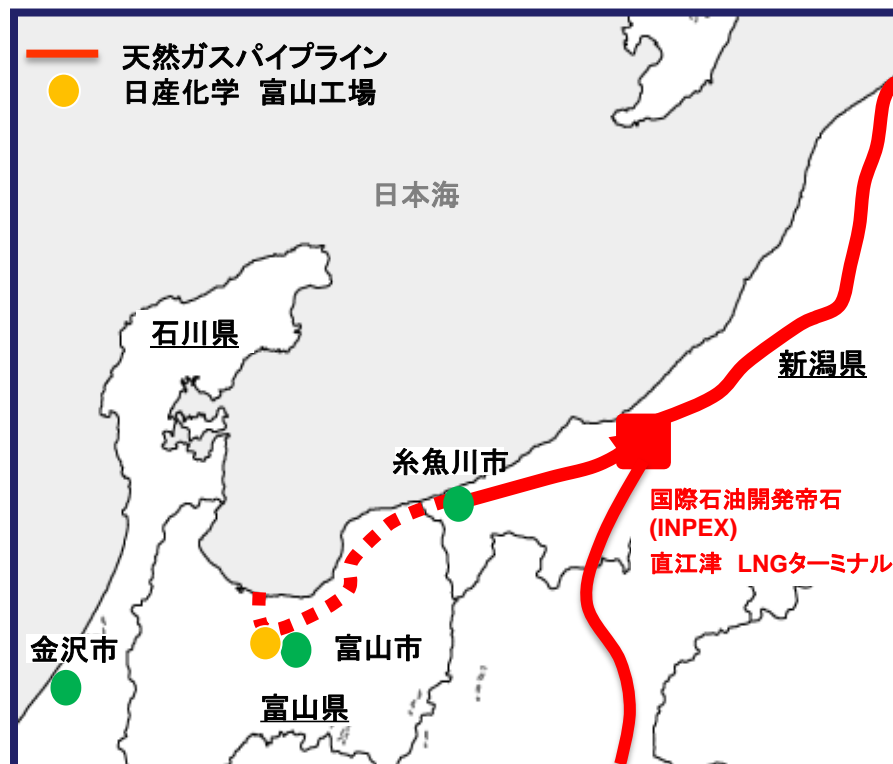


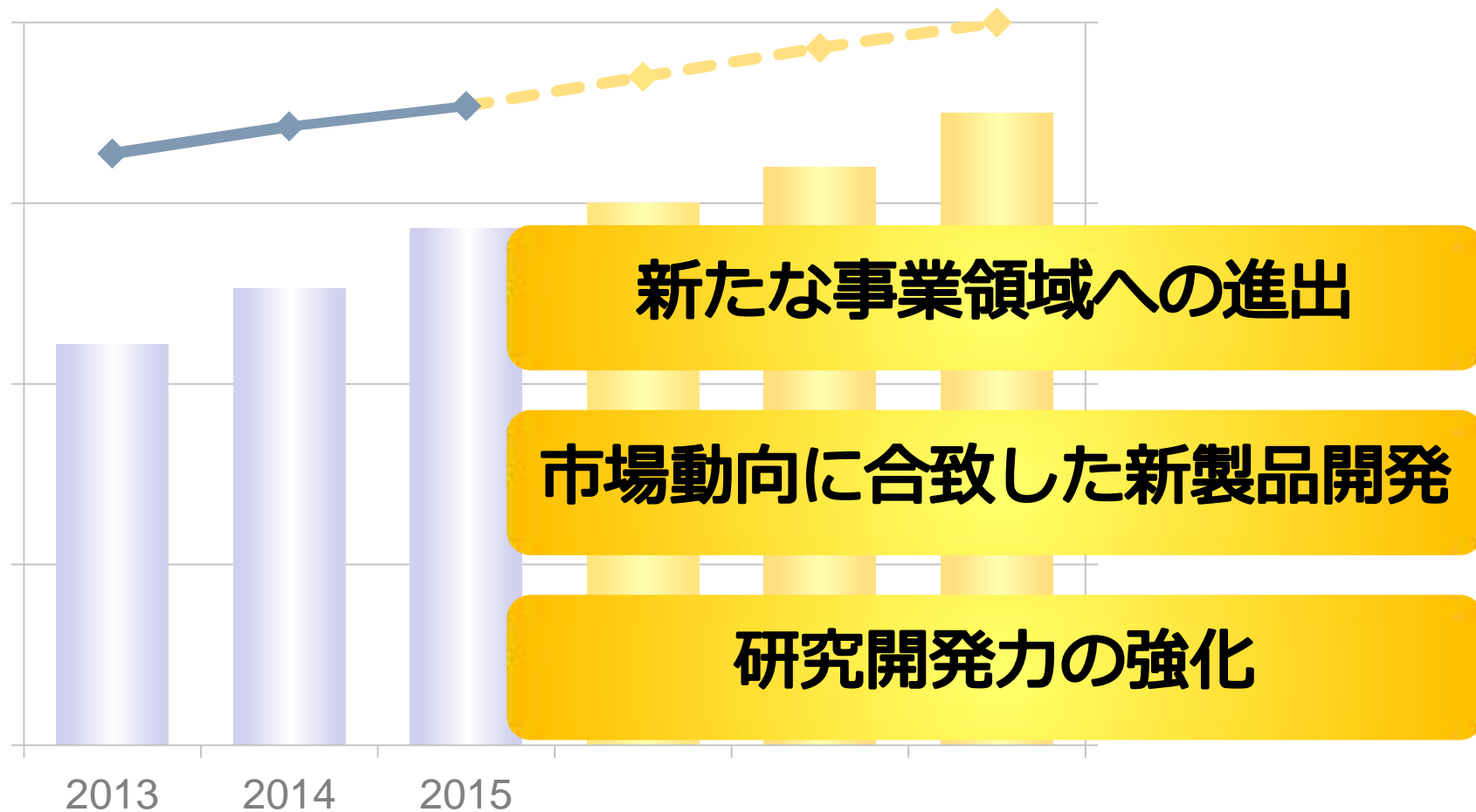
(FCeMプレパレーションキット)



(材料科学研究所)

- ◆ 富山工場アンモニア原料の天然ガスへの転換（2016年8月完工予定）
- ◆ 日産化学制品（上海）有限公司の設立
- ◆ 海外語学留学制度の新設（2014年度4名、2015年度8名派遣）
- ◆ 各工場におけるコストダウン





2030年を見据えた長期経営計画

2021年のあるべき姿を示す中期経営計画

社会的課題の解決に貢献し、人と環境にやさしい未来を創る

研究開発が主導する特色ある価値創造型企業



独自の革新的な技術で社会の要請に応える未来創造企業

Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

2. 長期経営計画「Progress2030」概要

事業を取り巻く環境

地球環境保全

食糧問題

2030年の企業像

グローバルに変化する社会と向き合い、
社内外の知を融合することで、
人々の豊かな暮らしに役立つ
新たな価値を提供する企業グループ

エネルギー問題

データ高速化

培った信頼と磨き上げた技術により、
情熱をもって未来を切り拓く、
一流の挑戦者集団

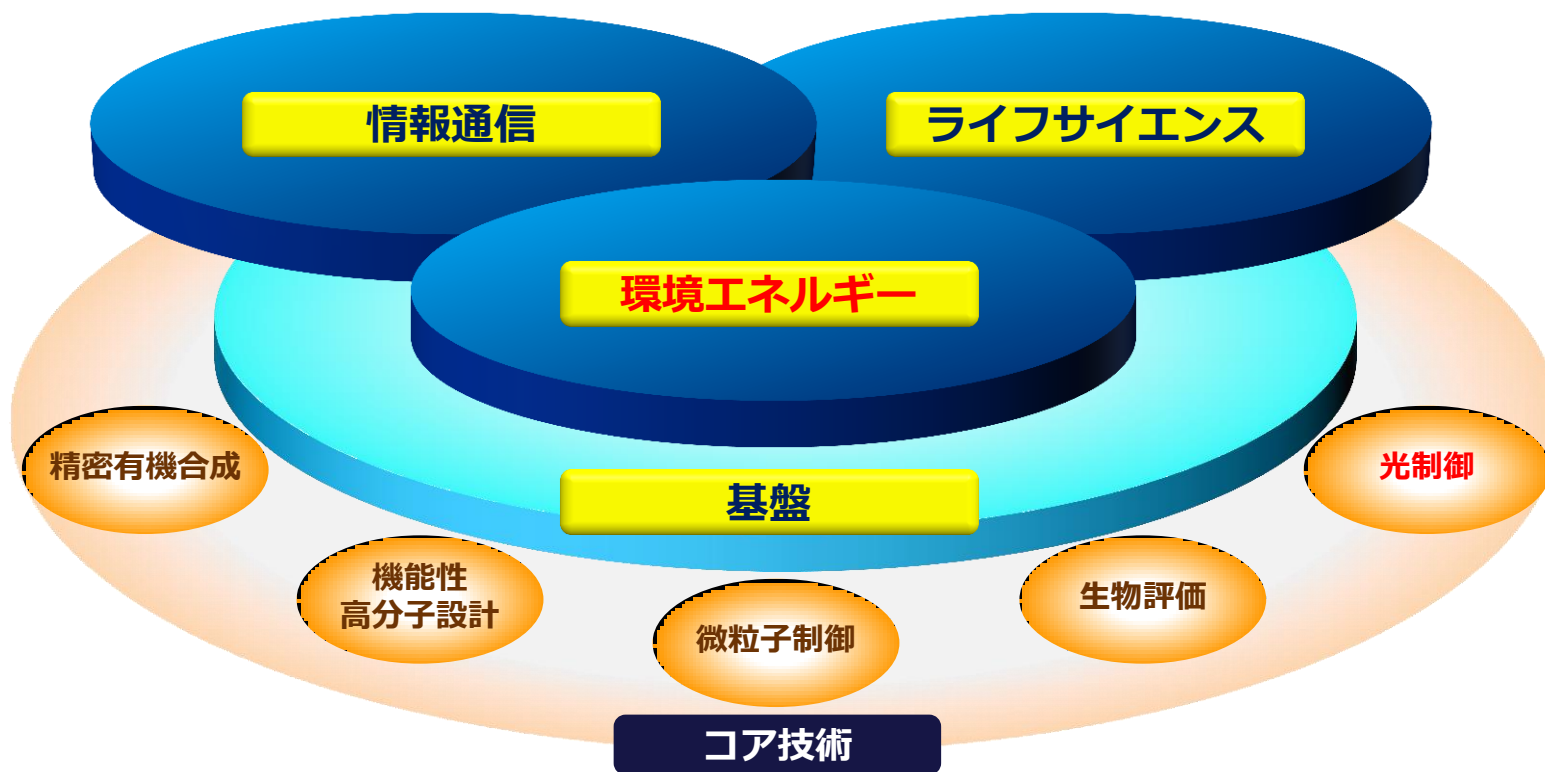
長寿・高齢化

人材多様化

医療費高騰

先進医療

5つのコア技術をベースとする4事業



独自技術の進化と深化、
そして拡充による新分野への進出

光制御技術の確立

市場の技術革新に即した製品を提供

- ディ스플레이材料
- 半導体材料
- 無機コロイド材料
- **センサー材料**：CMOSマイクロレンズ材料
- **光機能性材料**：光配線材料



(光配線イメージ)

生体材料の創出

生物評価と材料設計の技術蓄積を
もとに、先進医療に貢献

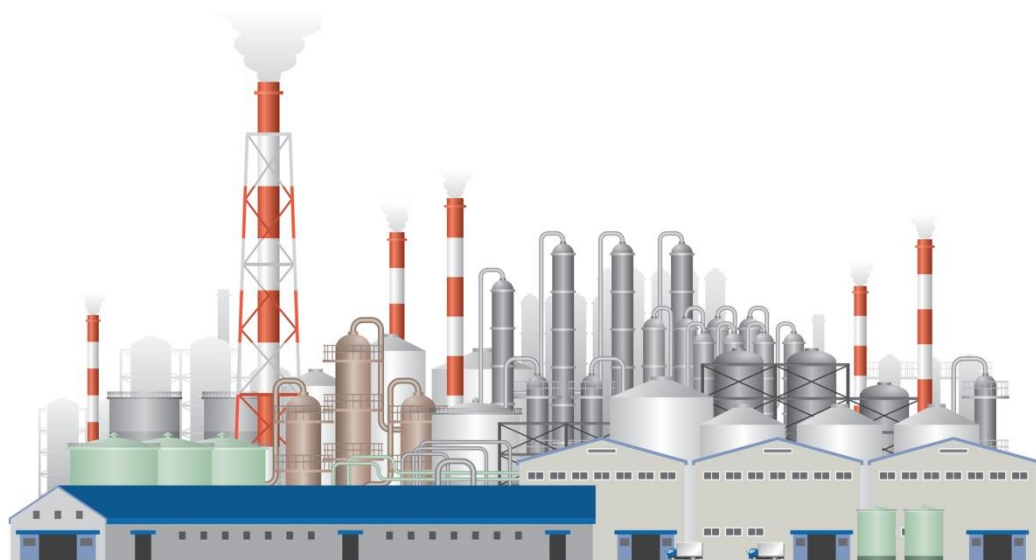
- 農薬
- 動物用医薬品
- 医薬品
- **生体材料**：細胞培養材料、生体適合性材料



(人工透析装置)

デバイス評価技術の構築

- **電池材料**：二次電池材料
- **環境発電材料**
- **熱制御材料**



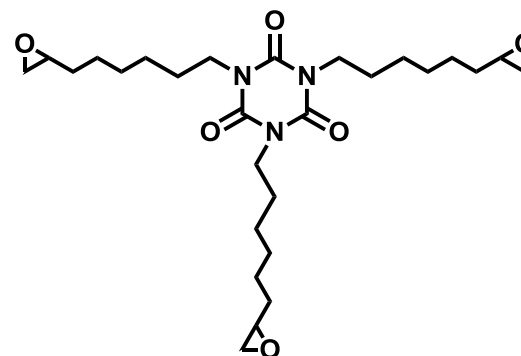
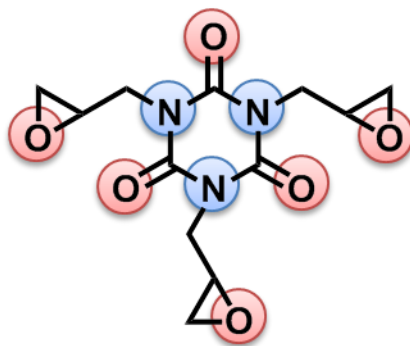
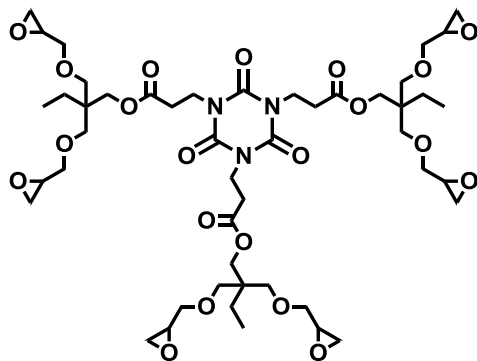
電池材料およびエネルギーの
有効利用に資する材料を供給



(リチウムイオン電池)

高機能化合物の上市

- 基礎化学品
- ファインケミカル：「テピック」関連の研究開発推進
- 関係会社





売上高3000億円、営業利益500億円の達成



3. 中期経営計画「Vista2021」概要

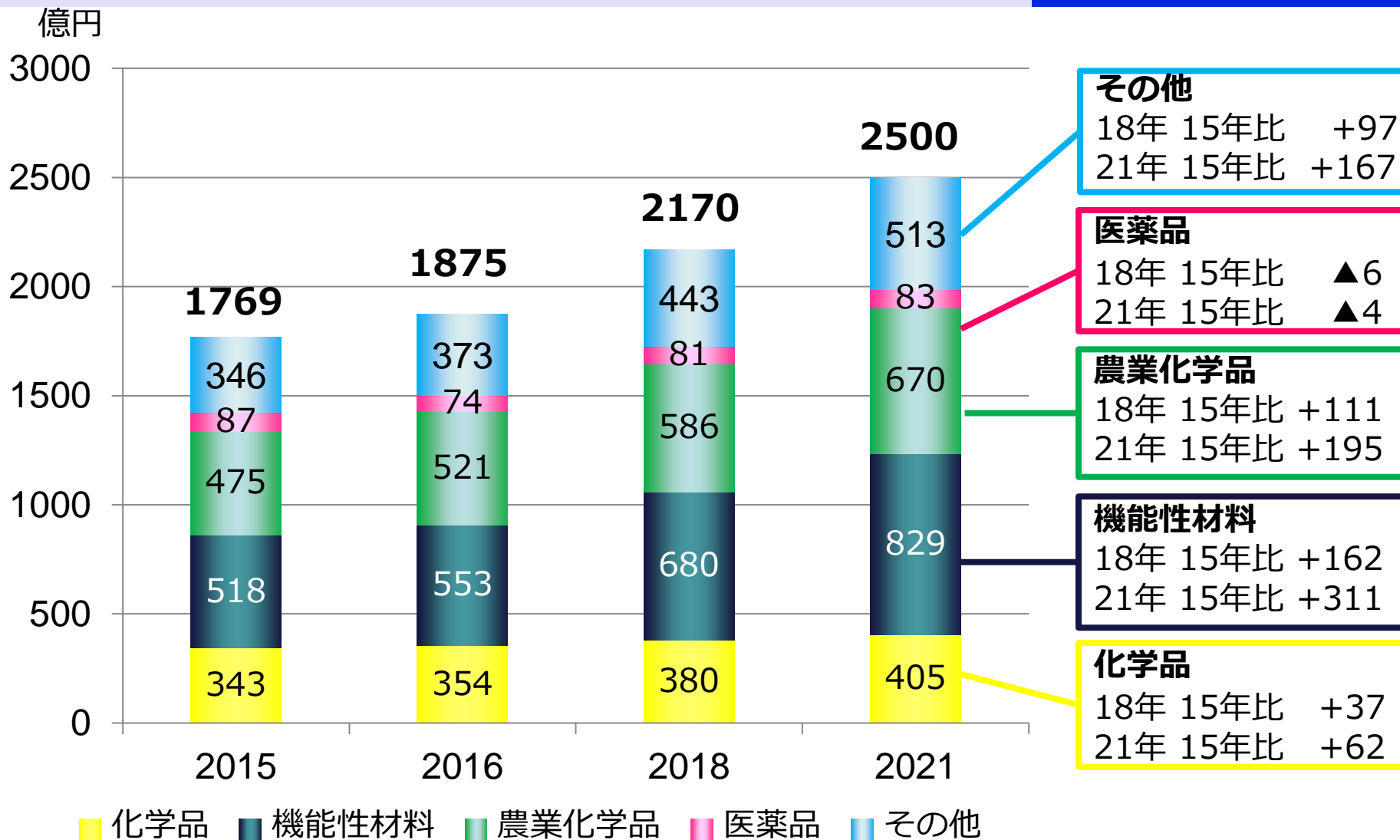
Stage I (2016~2018年)

Stage II (2019~2021年)

情報通信およびライフサイエンス事業が成長を牽引し、
化学品と関係会社が安定的な収益を確保している

環境エネルギー事業の礎を築き、常に前進する将来性と
存在感のある化学メーカーとしての地位を確立している

数値目標：売上高



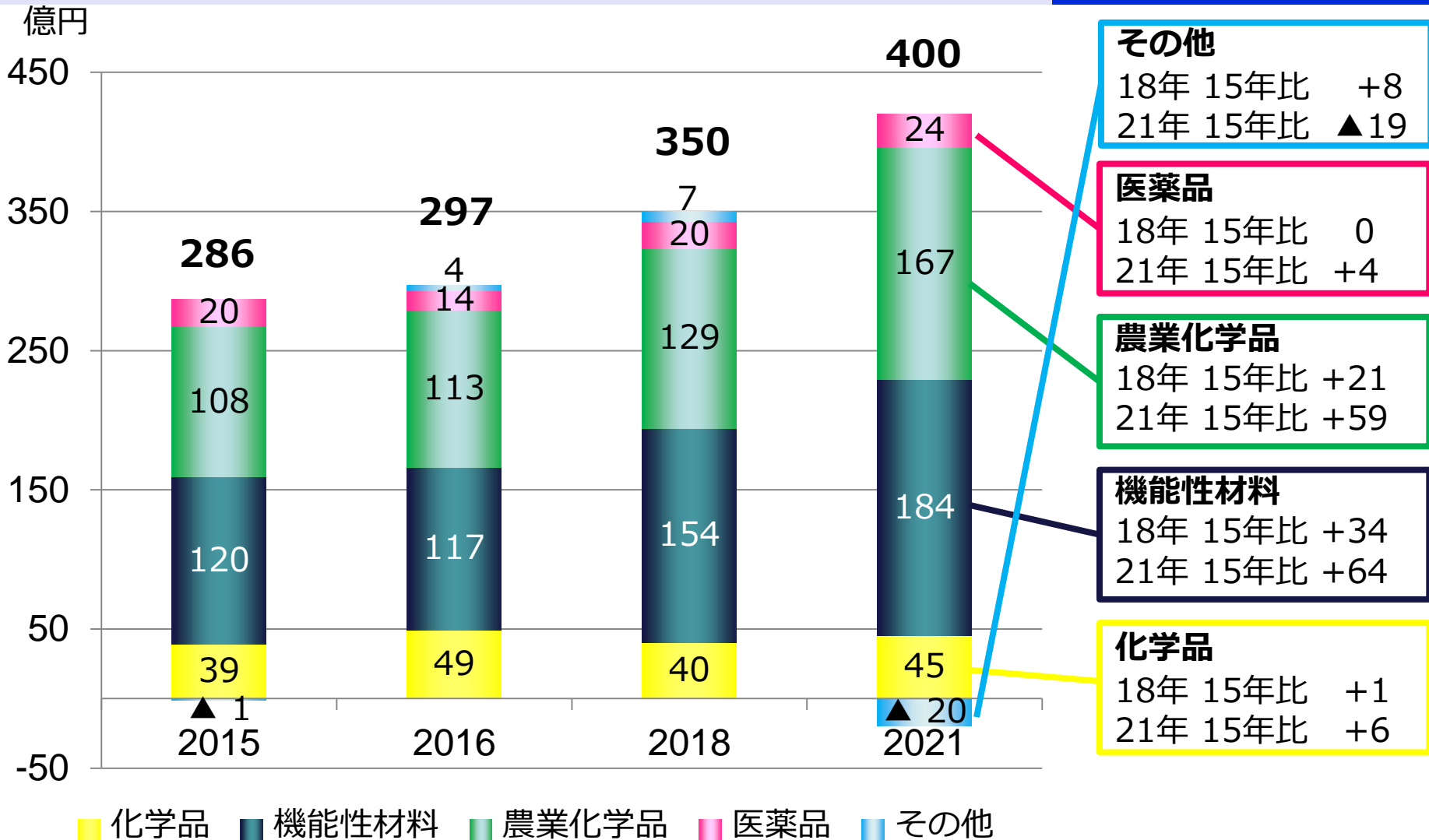
その他：卸売、その他、調整

ナフサ価格 (円/KL) :

2015年度 42,800円 2016年度 35,400円 2017年度以降 51,100円

為替レート (円/US\$) :115円

数値目標：営業利益



その他：卸売、その他、調整

ナフサ価格 (円/KL) :
 2015年度 42,800円 2016年度 35,400円 2017年度以降 51,100円
 為替レート (円/US\$) :115円

資源配分

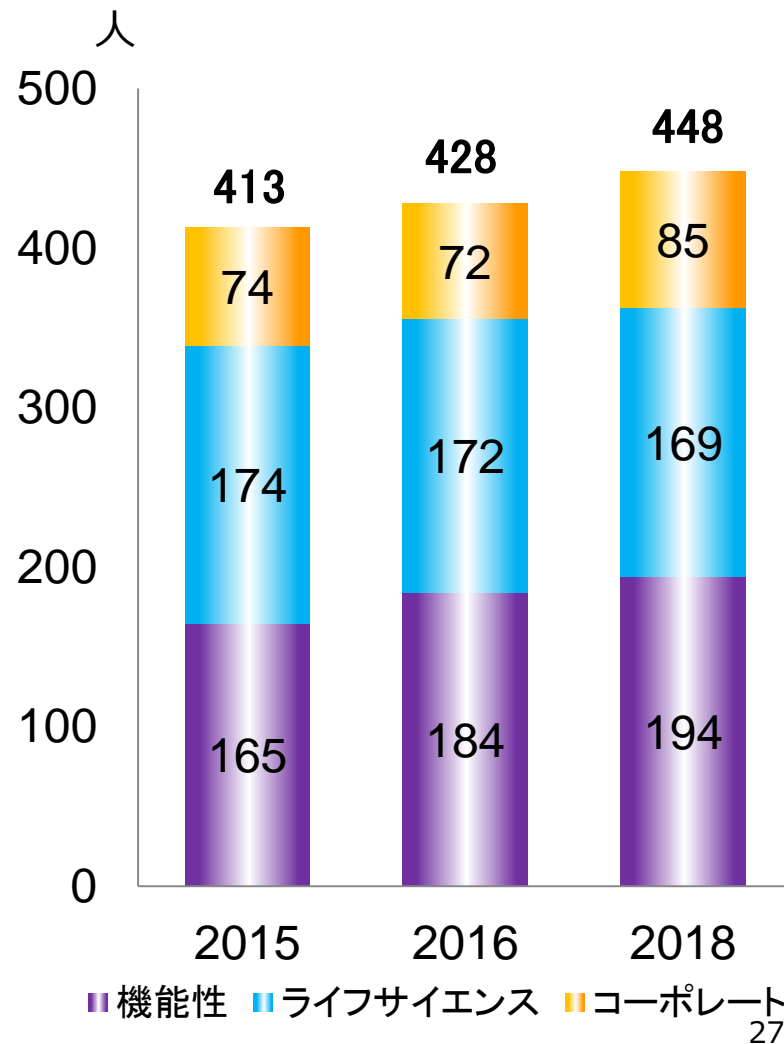
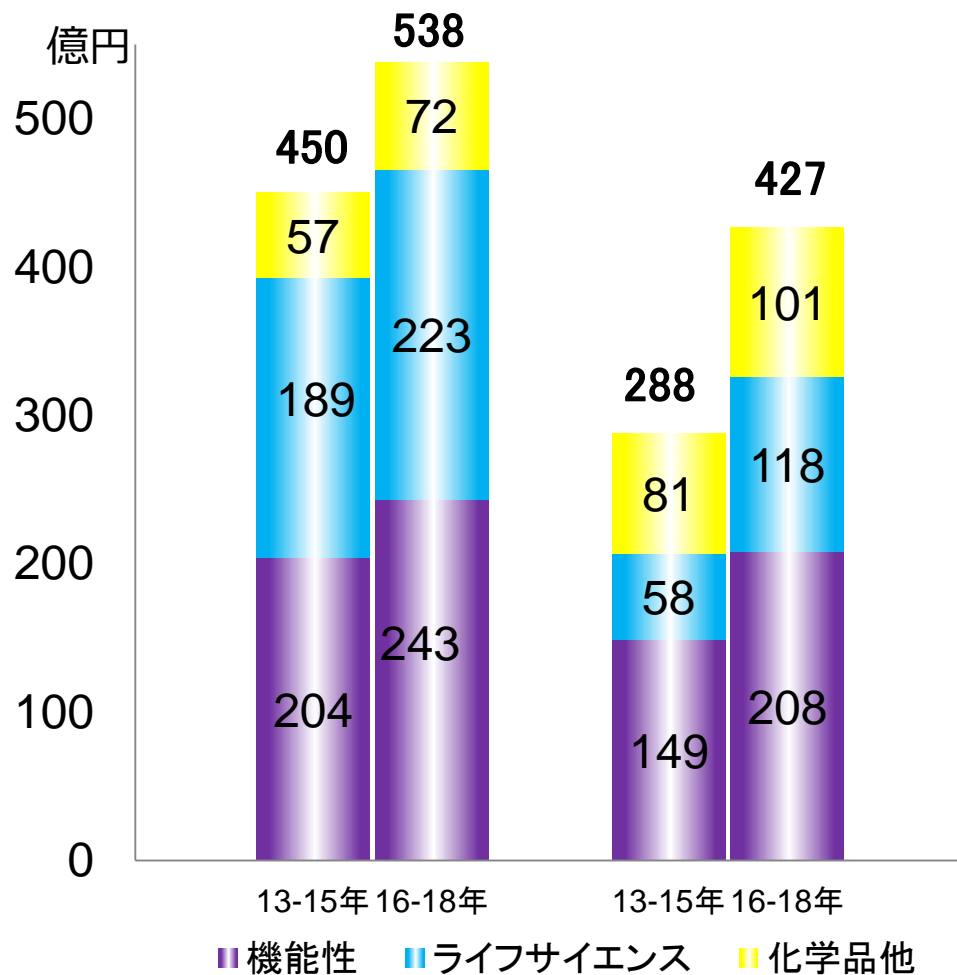
研究開発費

設備投資

研究要員計画

ともに3年間累計

設備投資：13-15年 検収ベース 16-18年 稼働ベース



Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

4. Stage I (2016~2018年度) 概要

現有製品の利益の最大化

マーケティング力の向上

研究開発力の強化

Stage I
2016-2018

Stage II
2019-2021

2030

化学品

- ①高品位尿素水「アドブルー」、高純度液安の販売量拡大
- ②「テピック」新グレードの実需化



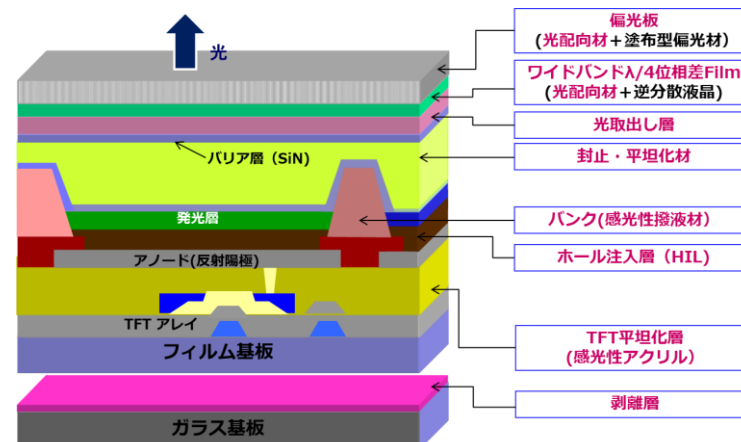
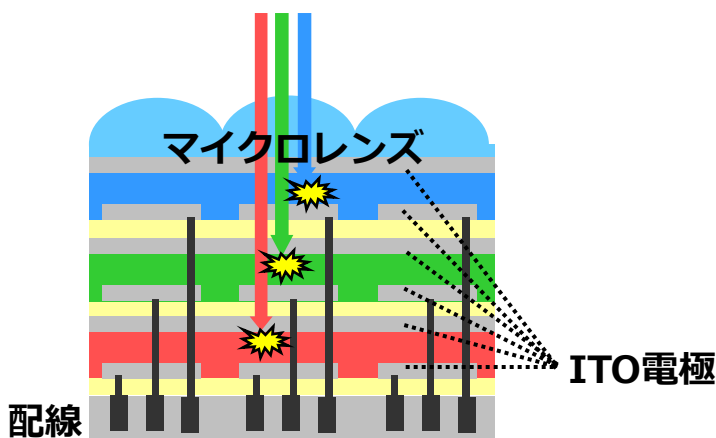
(アドブルー コンテナ)



(LED)

機能性材料

- ①光IPS向けディスプレイ材料、
多分岐型有機ナノ粒子「ハイパーテック」の拡販
- ②半導体反射防止コーティング材・多層材料の拡販、
イメージセンサー向け材料の戦力化
- ③シェール掘削材料によるオイル&ガス分野への参入
- ④有機EL関連材料の開発と実需化
- ⑤海外における生産拠点および顧客サービスの強化



農業化学品

- ① 水稻除草剤「アルテア」の拡販、
非選択性茎葉処理除草剤「ラウンドアップ」AL新剤の上市
- ② 海外現地法人の設立と海外販売量の拡大
- ③ 動物医薬品原薬フルララネルのイヌ・ネコ経皮投与用スポットオンなど
への展開



Stage I における成長の源泉

Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

医薬品

- ①新剤の導出とパイプラインの充実
- ②ジェネリック原薬ビジネスの拡大



(研究機器)

Stage II 以降に向けた取り組み

Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

情報通信

- ①耐熱レンズ、調光フィルム、光配線材料の開発
- ②次世代ディスプレイ・半導体材料の創出



(スマートフォン 写真撮影イメージ)



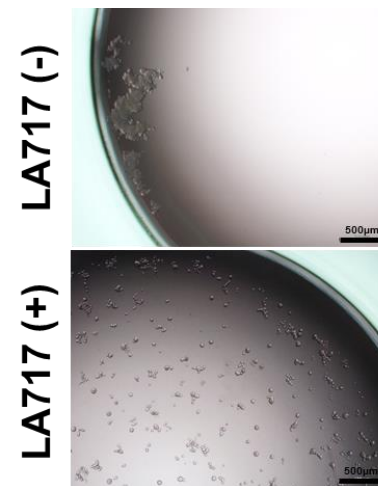
(自動車の窓)

ライフサイエンス

- ①殺虫剤NC-515、新規殺菌剤および水稻除草剤の開発
- ②血小板増加薬NIP-022の共同開発、抗真菌薬の共同開発推進
- ③細胞培養材料のグローバルスタンダード化



(FCeMシリーズ)



(SphereMax)

Stage II 以降に向けた取り組み

Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

環境エネルギー

- ①二次電池および燃料電池用材料の開発
- ②環境発電材料の創出



(ソーラーパネル)

研究開発

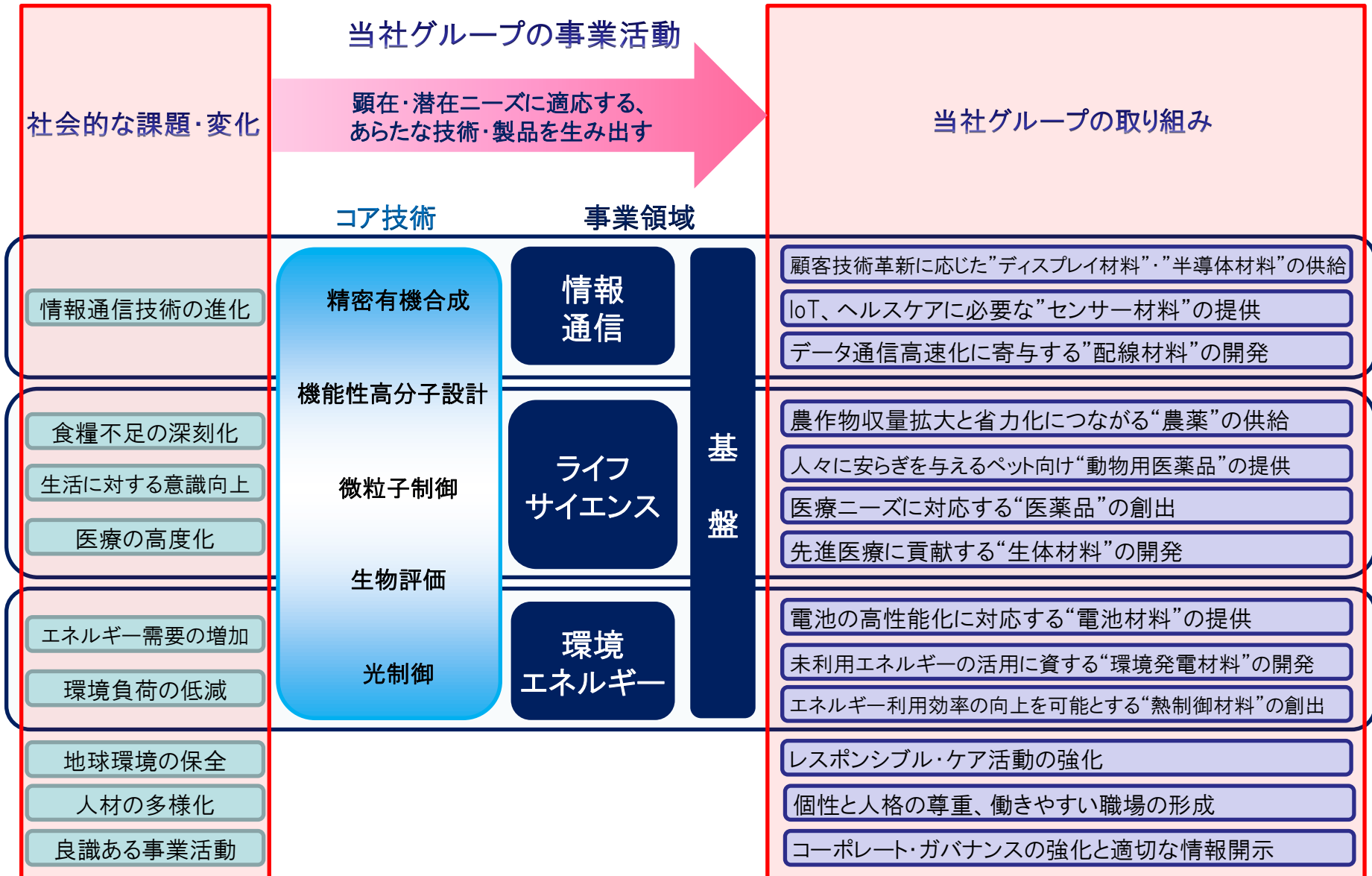
- ①生体材料分野におけるシーズ獲得
- ②オープンイノベーションによる先端技術の導入
- ③コア技術の強化および融合による、新規事業分野の開拓



(九州大学連携)

| | 2015年度 実績 | 2018年度 目標 |
|------------|--------------|--------------|
| 売上高営業利益率 | 16.2% | 15%以上 |
| ROE | 14.6% | 14%以上 |
| 売上高研究開発費比率 | 8.9% | 8%以上 |
| 配当性向 | 30.7% | 40% |
| 株主総還元性向 | 70.8% | 70%維持 |

独自の革新的な技術で社会の要請に応える未来創造企業



免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確定要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。